



News Letter Vol. 2では、シンポジウムをご紹介します。「東北の30年の作業療法活動とこれからの展望」をテーマに3名のシンポジストをお招きし、東北地方における精神障害領域、身体障害領域、発達障害領域の活動を振り返り、今後の発展に何が必要かを議論しました。東北圏域の作業療法の歴史を知り、先人の開拓と努力によって今ある作業療法の状況に感謝するとともに、受け取ったものを活かしてより良いものへ磨き上げていくことが、現役で働く作業療法士の役目であり責任です。ぜひともご視聴ください！

精神障害領域

東北文化学園大学

香山明美



好きな言葉：一生懸命に生きる

近年の精神科領域における作業療法の変遷とこれから

本日のお話

- ・原点・作業療法の定義について
- ・過去・精神科作業療法のこれまでの歩み
- ・現在・作業療法士の強み
- ・未来・地域包括ケアシステムに資する作業療法士の役割
- ・普遍・被災者支援からの学び

身体障害領域

ときわ会病院

原長也



好きな言葉：愛

機能訓練事業から介護予防事業への関わりの振り返り

福祉・介護予防政策の推移と振り返り

- 1982 老人保健法に基づく機能訓練事業
- 1984 入職
- 1987 勤務施設がある村の機能訓練事業に関わる
- 1988 県士会士会地域リハビリテーション委員会  
「作業療法士が関わる県内機能訓練事業の実態報告」
- 1994 高齢者保健福祉10ヶ年戦略  
新高齢者保健福祉10ヶ年戦略

発達障害領域

一般社団法人アクティビティいわて  
児童発達支援アクティブキッズ

松田均



好きな言葉  
志は成る、為さねば成らぬ阿摩も

温故知新と心技体

お話すること

- ・OTの小児・発達障害系の振り返り
- ・『こどもOT』とは?????
- ・障がい福祉におけるこどもOTの役割
- ・心・技・体=OTを体現?
- ・こどもの発達 こどもの心技体
- ・社会的存在にする手助けをするOT
- ・新しいフィールド 教育と福祉
- ・『知新』的プロジェクト



「私は橋骨尺骨です。お互いがそれぞれ頼りにしています。」

座長 小山内隆生 学会長



東北地方において作業療法がどのような経緯をたどり発展してきたのか、先人たちはどのような活動をしてきたのかを振り返り、今後の発展に必要なことは何かということについて意見交換を行う機会にしたいと考えています。

開催期間

2022

7 / 1 - 31  
FRI SUN

CHECK HERE!

